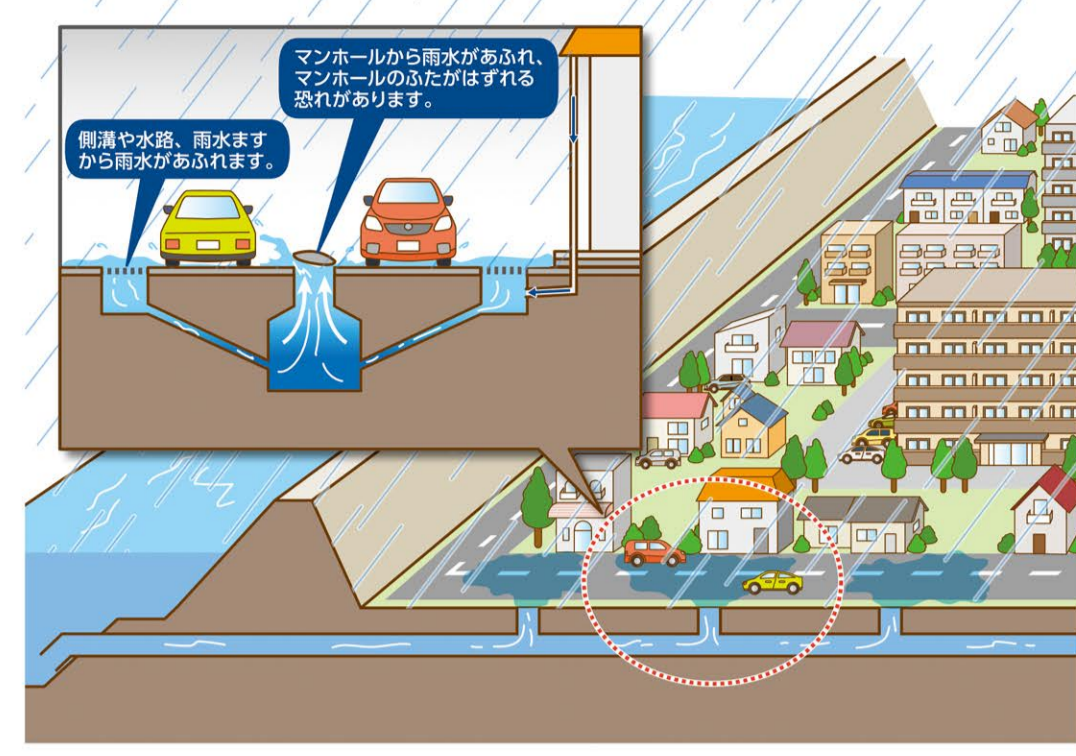


磯子区内水ハザードマップ 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜環境整備局が作成したものです。
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なる場合があります。

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどのように決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間最大降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

磯子区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

大岡川水系河川：大岡川、堀割川

この洪水ハザードマップは、大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。




洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどのように決めたの？

こちらの洪水浸水想定区域※の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間332mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が決壊した場合をシミュレーションにより予測したものです。
【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。

※1 神奈川県ホームページ
(https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4/cnt/f3747/p1039490.html)
※2 横浜地方気象台ホームページ
(https://www.jma-net.go.jp/yokohama/)

横浜市水防防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。



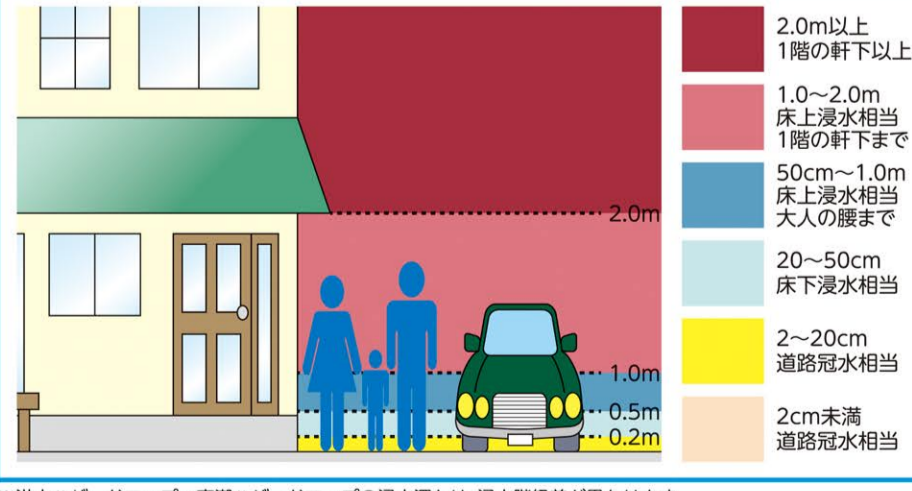
項目	内容
資料	横浜市地形図製図承認番号 第9024号 横浜市建設局都市計画部データ(国測レベル2500)により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	大岡川水系浸水想定区域
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域(令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域(令和5年12月現在)

項目	内容
資料	横浜市地形図製図承認番号 第9024号 横浜市建設局都市計画部データ(国測レベル2500)により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境整備局 磯子区内水浸水想定区域(令和3年4月)

想定条件
1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨

凡例(Explanatory Notes)

浸水深のめやす

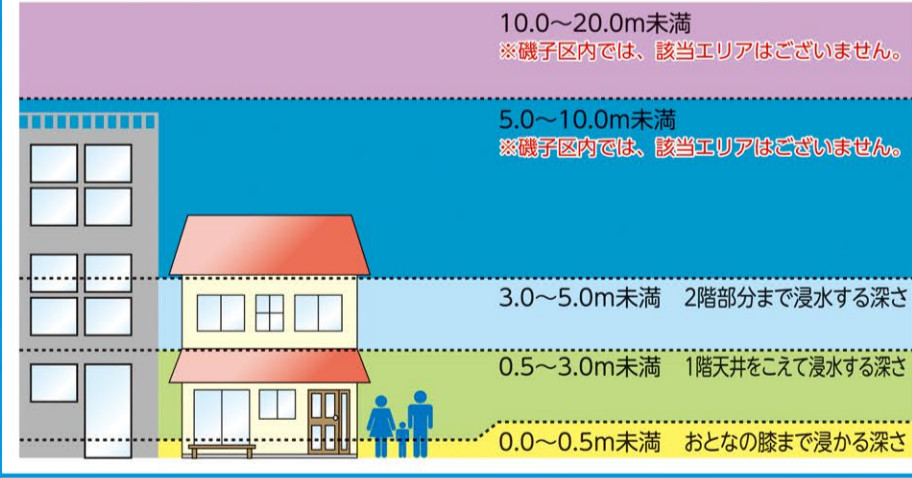


避難する際に注意する箇所

避難所	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	主要道路
JR線・駅	主要道路
私鉄線・駅	主要道路
市営地下線・駅	主要道路
河川・運水池	水辺監視カメラ
	下水道事業計画区域*

凡例(Explanatory Notes)

浸水深のめやす



避難する際に注意する箇所

避難所	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	主要道路
JR線・駅	主要道路
私鉄線・駅	主要道路
市営地下線・駅	主要道路
河川・運水池	水辺監視カメラ
	下水道事業計画区域*

風水害時における避難場所について

災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
2か所以上の避難場所へ避難できる場合、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。
なお、磯子区では風水害時の避難場所として、下記に示した避難場所を優先して開設します。

過去に開設された避難場所	岡村中学校コミュニティハウス、根岸地区センター、浜中学校コミュニティハウス、浜小学校コミュニティハウス、さのわの里小学校、洋光台第四小学校コミュニティハウス
--------------	--

想定条件
大岡川水系：24時間で332mmの降雨

項目	内容
資料	横浜市地形図製図承認番号 第9024号 横浜市建設局都市計画部データ(国測レベル2500)により作成
洪水浸水想定区域	横浜市建設局 大岡川水系洪水浸水想定区域(令和5年12月現在)
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域(令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域(令和5年12月現在)